

矢上の風

12月号 令和5年12月1日発行



【校訓】
自友 練勤
主愛 磨勞

「いてふの実」

校長 川口 孝

イチヨウの葉はなぜ黄色になるのか。疑問に思い調べたところ、次のような説明がありました。「イチヨウの葉には、緑の色素のクロロフィルと黄色の色素のカロチノイドが混在しており、ふだんは、緑のクロロフィルが多いのですが、秋になり、気温が低くなると、緑の成分だけが分解されて少なくなっていく、最終的には、カロチノイドだけが残り、黄色になります。」(日本気象協会より)つまり、緑が抜けた結果、黄色だけが残るということのようです。朝、校庭はイチヨウの葉で黄色く染まっています。その絨毯の上を生徒が一人一人踏みしめ校舎へ入っていきます。今だけの風情のある光景です。

このイチヨウの落葉をみるにつけ思い出すのが宮沢賢治の童話『いてふの実』です。今年生まれた千人の子どもたち(ギンナン)が冬を前に旅立つ物語です。イチヨウのお母さんは、それがあまりに悲しすぎて、前日には金色の髪の毛(イチヨウの葉)をみんな落としてしまいます。『いてふの実』の子どもたちが恐怖と戦いながらも旅立つのは、葉が落ちて明日は冬が来ると知らされたからです。子どもの旅立ちを、「ぎんなんが落果する様」に、そして「イチヨウの葉の落葉」を、我が子の旅立ちを切なく見送る母親の気持ちに見立てた、愛情と希望に満ちた童話です。

3年生は三者面談が実施されています。そろそろ進路先について定めていく時期です。高校見学、高校説明会、模擬試験など、様々な情報をもとに、「自分が約3年間通うことになる上級学校」を真剣に考える正念場。将来の見通しや意欲の乏しい進路選択においては、やがて中途退学、進路変更などの懸念を生じます。「自分の将来のためにその学校がどう必要なのか」が一番の判断基準になるでしょう。そこで、何を伸ばしたいか、生きていく上で何が大切なのかなどについて、親子で十分に話し合うことが重要であると思います。

人が将来進む方向を「進路」といいます。1・2年生もやがて1年後2年後に決断するときがやってきます。図書館には職業に関する本が沢山用意してあります。1年生は今のうちから積極的に情報を収集しましょう。2年生は来年5月に職場体験学習が3日間実施されます。その準備学習を3学期から始めていきます。そして今、3年生はまさにその進路について決定する時期に直面しています。冷たい風の中、面談後に親子で肩を並べて、学校を後にする姿はほほえましくもあり、『いてふの実』の物語と重なります。今後の生徒の頑張り、来春希望に満ちた卒業を迎えることができるよう、期待しています。

生徒会任命式 ～第46代生徒会役員～

18人の新役員が決まり、11月10日(金)に任命式を実施しました。これまでの伝統を継承しつつ、更に新たな風を起こしてくれることなのでしょう。楽しみです。 ※ 敬称略

本部			
会長	上東	副会長	住本・金田
書記	花田・永原	会計	佐々木
専門部			
学習部	(部長) 松元 (副部長) 武元	保体部	(部長) 部當 (副部長) 丸山
広報部	(部長) 有馬 (副部長) 石畑	図書部	(部長) 平原 (副部長) 池松
給食部	(部長) 野中 (副部長) 戸山	生活部	(部長) 畑中 (副部長) 尾曲



旧役員



新役員

食に関する指導(2年生)

11月11日(土)



KAGO 食スポーツの田畑先生の講話を聴きました。「体は食べたものでできている。」食の重要性を再認識しました。

PTA リサイクル活動

11月25日(土)



リサイクル品でトラックが満杯になりました。事業研修部の皆様、部活動生の皆さん、ありがとうございました。

せばる隼人舞祭り(1年生)

11月23日(木)



本校文化祭でも演じた「松明の舞」を堂々と披露しました。凛々しい舞と演奏に大きな拍手が鳴り響いていました。

受賞・入賞関係等

(敬称略)

「家庭の日」作品展 絵画の部 優良賞：池田(2年)
かごしま絵手紙コンクール 奨励賞：荷福(3年)、入選：福富(3年)
「こころの言の葉」コンクール 入選：上東(2年)
黎明の地ふるさと短歌大会 特選：川原(3年)
伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 佳作：新村(3年)
県中学校新人バドミントン大会 男子シングルス準優勝：川畑(1年)

<スクールカウンセラー(SC)12月の来校予定日>

○市SC(黒松先生)・・・12/4(月)12/11(月), 12/18(月)

○文科省SC(中川先生)・・・12/19(火)13:30~16:30

※ 相談希望の方は事前に学校(220-5661)までご連絡ください。

